一般社団法人
ＭＯＡ自然農法
文化事業団
美幌会

感謝と健康をベースにした　人・家庭・まちづくり

栃の木からの手紙

２０１９年　　８月号

「とうや芋」の花が終わり「さやあかね芋」の花が満開の７月１５日、「とうや芋」の葉色に変化が現れ始めました。疫病の徴候です。例年より１０日程早い５月７日に播種した２４本のとうやの畝の内、看板から始まる１２畝はＬＭサイズの大きな芋をそのまま、次の１２畝はＳＭサイズの小さな芋をそのまま植えました。大きい芋はとうやの中でも先に開花して終わり、小さい芋はまだ咲いた花が残っています。どちらも生育過程は同じですが、最初から違う事は、養分を沢山持っていたかどうか。

「財産よりも　良き性格を受け継ぐことが
　子孫には幸せである」と、カレンダーにある。

８月　　葉　月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

さてこの後、芋はどの様に変わって行ったのか？

１日：　新月　旧　７月　１日
６日：　広島原爆の日
８日：　立秋
９日：　長崎原爆の日
１２日：　御巣鷹山慰霊の日（日航ジャンボ機墜落）
１５日：　平和祈念の日　：満月　旧　７月１５日
２３日：　処暑
３０日：　新月　旧　８月　１日

左写真は７月２１日。とうやの疫病が進行しているが、葉色は濃く、隣の「きたあかり」との境界も明確。

左下の写真は８月１日。とうや２４畝全て枯れ、奥まで枯れている。芋の葉色も薄くなり、緑に見えるのは、雑草が繁茂している為。

旱魃の７月、２４日から始まった秋播き小麦の収穫は７月末までに殆ど終わり、一般の芋は、早くから黄化が始まり枯れ始めています。

芋の坪堀調査をすると、殆どの芋に多少のそうか病が着いています。

2019 年　馬鈴薯	坪堀調査					
高橋農場	作付 3.1		予想収量 3,348	作付 3.7		予想収量 3,663
	JASきたあかり			JASとうや		
播種日	5月6日			5月7日		
調査日	8月4日			8月4日		
畝幅(cm)	72cm × 35cm			72cm × 35cm		
抜取株数(本)	14本			13本		
1株当り塊芋数						
予想反収(kg)	1,080			990		
サンプル調査内容						
規格	個数	重量(g)	比率(%)	個数	重量(g)	比率(%)
正品計 3L 260g ～ 330g			0.0			0.0
正品計 2L 190g ～ 260g			0.0			0.0
正品計 L 160g ～ 190g						
正品計 L 120g ～ 160g	1	0.2				
正品計 L計			0.0	6	0.7	11.1
正品計 LM 100g ～ 120g	7	0.7	12.3	7	0.7	11.1
正品計 M 90g ～ 100g						
正品計 M 70g ～ 90g						
正品計 M計	10	0.7	12.3	13	1	15.9
正品計 S 60g ～ 70g						
正品計 S 50g ～ 60g						
正品計 S 40g ～ 50g						
正品計 S計	40	2.2	38.6	18	0.9	14.3
正品計	57	3.6	63.2	44	3.3	52.4
外品計 変形						
外品計 そうか病						
外品計 緑化						
外品計 腐敗						
外品計 傷						
外品計 裂開						
外品計 小玉						
外品計 尻腐れ			0.0			0.0
外品計	0	2.1	36.8	0	3	47.6
総重量	57	5.7	100.0	44	6.3	100.0
ライマン価						
空洞						